

ハーベスタとフォワーダを 組み合わせた間伐作業システム



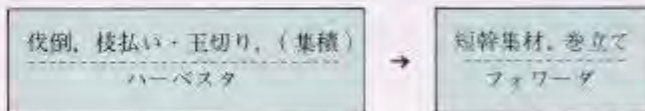
ハーベスタの作業

ハーベスタとフォワーダの組み合わせによる間伐作業が、将来盛んになると予想されます。両機械とも林内を自走して作業を進めるため、傾斜20度以下での使用が安全です。また、初回間伐の林分などでは、機械走行路の作設を兼ねた列状間伐が基本となります。

この作業システムによる生産性の目標は、平均胸高直径が26cm前後の間伐木の場合、およそ17㎡/人・日です。

フォワーダの作業工程はハーベスタに比べて低いため、フォワーダの作業を効率化することが、全体の生産性を高めることにつながります。そのためには、ハーベスタの作業において次のような工夫をすることが重要になります。

- ①伐根高をできるだけ低くする。
- ②同じ位置で数本分の間伐木を玉切り、同じ長さの材をまとめるように集積する。
- ③玉切した材は走行や集材作業の障害にならない位置に集積する。
- ④少々時間がかかってもいいに集積する。



ハーベスタとフォワーダの組み合わせによる作業の流れ



フォワーダの作業